

消防団の活動

まちを知り、支え合う

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・災害時を問わず地域に密着し、区民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

また近年は、女性の団員も増加しており、防火・防災等の普及啓発活動、応急手当の指導等において特に活躍しています。

区内の消防団 ※11月21日現在

荒川消防団第1～8分団

団員数 243人

尾久消防団第1～6分団

団員数 158人

活動内容

平常時 ▶ 資器材の取り扱い訓練 ▶ 地域の催し等の火災警戒
▶ 区民への防火・防災指導

災害時 ▶ 消防署と連携した消火活動 ▶ 区民の救助・救護活動
▶ 災害現場での広報 ▶ 鎮火後の警戒活動

先輩のおかげ

荒川消防団第4分団

成田さんご家族



小さいときから母の活動を見ていたので、消防団の活動内容はわかっていました。実際は、訓練活動をするのが勝手が違うこともあり戸惑いましたが、先輩がわかりやすく教えてくれました。

今後は、取得が難しい「応急手当普及員^{*}」の合格を目指しています。
※心肺蘇生法・AED操作法・止血法・異物除去法等の指導員

職場で消防団を知り、同僚と二人で入団しました。まずは1年、と思いましたが、応急手当の資格等を取得できたり、先輩の団員の皆さんが優しく教えてくれたり、8年続いています。

◀左から圭汰さん、美佳さん

地域に関わりたい

尾久消防団第2分団

岡田さんご家族



入団の決め手は、「地域の人と知り合いになれる」、「地域を知ることができる」、「消防団の組織がしっかりしている」ことです。入団して間もないですが、さまざまな知識・技術を吸収して地域の皆さんにお伝えできるようになりたいです。

仕事が建設業で消防署と関わることも多く、消防団の活動がどんなものかはわかっていました。子どもが大きくなり、「地域に貢献したい」と思い、家族で話し合って入団することに決めました。

◀左から真由美さん、瑠美さん、和吉さん

消防団員を募集しています

対象 区内在住・在勤・在学で、18歳以上の健康な方

入団後の待遇

- ▶ 被服等の給付・貸与…活動服・制服等
- ▶ 健康診断…定期的に健康診断を行っています
- ▶ 公務災害補償…消防活動中にけが等をした場合は、治療の費用や休業の補償、介護の補償等さまざまな補償があります
- ▶ 報酬…消防団活動、災害・警戒等出動に対して支払われます
- ▶ 退職報償金…勤務年数に応じて支払われます（5年以上、15年以上は賞状・記念品も贈呈）

消防団以外にも活動できる場があります

■ 東京消防庁災害時支援ボランティア
消防職員の助言・指導の下に、応急救護活動、消火・救助活動の支援、災害時情報の収集活動等を行います。

対象 区内在住・在勤・在学で、15歳以上の方（中学生を除く）

■ 消防少年団
消防の仕事・火災予防についての学習や地域の美化活動等を行います。

対象 区内在住の小・中学生



応募・問合せ

- ▶ 南千住・荒川・東日暮里・西日暮里地域にお住まいの方……………荒川消防署 ☎ (3806) 0119
- ▶ 町屋・東尾久・西尾久地域にお住まいの方……………尾久消防署 ☎ (3800) 0119

冬の火災にご注意

冬は空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節です。各家庭で火災予防を心がけましょう。

問合せ 防災課防災管理係 ☎内線492

主な出火原因の種類

たばこ

死者が発生した住宅火災の中で、最も多い出火原因です。寝たばこ中の火種の落下・火種の残ったたばこをごみ箱に捨てる不始末等は絶対にやめましょう。



コンロ

調理中にコンロから離れる、IHクッキングヒーターの不適切な使用、燃えやすい可燃物等を置くことが原因の火災が多く発生しています。

ストーブ

ストーブの中でも、電気ストーブによる火災が最も多い原因です。ストーブの近くに、洗濯物等の燃えやすい物を置かないようにしましょう。

コンセント・プラグ

コンセントは、ほこりがたまりやすい場所です。そのほこりがプラグの間にたまり、湿気や水分が発生し出火の原因になります。定期的に掃除をしましょう。

